

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第1回)

2 開催日時 令和7年6月3日(火) 14時00分～15時45分

3 開催場所 関高等学校校長室

4 参加者	会長	大野 正博	朝日大学法学部教授
	副会長	村井 義史	本校同窓会副会長
	委員	福田 恵介	福田刃物工業株式会社取締役
		平田 久美子	平田建設株式会社取締役
		衣斐 七海	関市産業経済部観光課【欠席】
		檀上 達也	本校PTA会長

学 校 側	中原 泰男	校長
	堀 卓也	教頭
	植田美智留	教頭
	岸 正美	事務部長
	進 晶彦	教務主任
	廣瀬 志穂	生徒指導主事
	田代 寿文	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	松野 恭介	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

スクール・ミッション及びスクール・ポリシーに基づいた本校の学校経営方針及び教育活動について、学校側から説明を行った後、委員と意見交換・質疑応答を実施した。

質問1 夏場のエアコン使用について、暑い時でも勉強に集中できる環境になっているか。先日、窓枠が落ちたと聞いたが、校舎の老朽化に伴う対策はどうなっているか。不審者の侵入について何度か聞けどう対策されているか。

回答 熱中症予防を第一に考え、今年度からは子どもの様子や教室の状況に応じて柔軟に使用を認めている。窓枠落下については翌日すぐに窓の調査を行い危険個所の情報共有をしている。教育財務課からの連絡で、落下防止装置について再度調査中。結果をふまえて安全確保に努める。不審者対策として関署にパトロール強化を依頼している。

意見1 進路指導方針について、生徒の自主性、自走性に任せつつも、進路実現に向けた支援をお願いしたい。

回答 自主性と手厚い支援のバランスは永遠の課題である。例として、今年度から始まる共通テストのウェブ出願に向けて、家庭と連携しながらも生徒の自主性を大切にしていきたい。

意見2 この数年で生徒が体験できる場面が増えていることは評価できる。企業経営者、雇用する立場としては、「学び」の先

にある「働く」ことを目指して、様々な経験を通して多様な社会を見ることがよい選択につながる。さくら塾（外部の方の話を聞く機会）は重要。

意見 3 社会や企業においては、うまくいかない時ほど、問題をオープン化し、課題を前向きに捉えて伸びていくことが大切。アンケート等で問題点を明らかにすることはよい。社会は理不尽なことが多い、うまくいかず、失敗した生徒への声掛けを大切にしてほしい。学校には失敗する自由があるべき。関高の、まずやってみて、出てきた問題を考えて改善していくという取り組みはとても良いと思うのでこれを継続してもらいたい。

質問 2 学校の目標を生徒と共有することが大切。本校のスクール・ミッションを生徒は知っているか。自己実現や社会貢献に関する生徒のイメージはどのようなものであるか。

回答 スクール・ポリシー同様に学校ＨＰ等も利用して周知していく。これまでの取り組みを見ていると、生徒は、探究活動の中で実際に町の人々や社会に触れる体験を通して社会貢献や、自己実現を感じていると考えている。

質問 3 関高に入学する生徒の学力に関して様々な話を耳にする。今春入試では定員割れの高校が多くあったと聞か、1 年次生の出願状況はどうであったか。また、どのような学力層の生徒が入学してきているか。

回答 中学から広域通信制に進学する生徒の増加等もあり、美濃地区内ではほとんどの学校が定員割れを起こしていた。様々な学力層の生徒が入学してくるが、ここ数年は探究活動の充実に伴い、進学実績も伸びている。

意見 4 生徒の探究発表に、出典に関する引用がないことやファクトチェックの不十分なものもあるので気をつけさせたい。

質問 4 知識の習得がゴールではなく、如何に知識を生かすかが大切であり、反転授業やブレンド授業の実践という点について、一部科目においてすでにこれらの手法を取り入れている関高校は素晴らしい。今後は、さらに生成ＡＩを賢く使いこなすことが必要。また、学習用ＡＩアプリの入ったタブレットを家で予習に使えるれば、学校の授業ではもっと深い学習が可能。関高校では生成ＡＩアプリが入ったタブレットを使っているか。

回答 生徒用タブレットには生成ＡＩは入っていない。生成ＡＩを使いこなせる知識、検証できる国語能力を育てたい。

質問 5 道交法改正により来年から雨天時の自転車運転は雨合羽着用が必要になる。合羽の置き場所確保の問題がある。ヘルメット着用についても義務化するとヘルメットの置き場所が必要になるが関高の現状はどうであるか。

回答 4月実施のヘルメット着用率は19%。まだ数が少ないこともあるが、ヘルメットの置き場所はない。生徒は自転車のカゴに入れているのが現状。置き場所を設置するとなると新たに予算が必要になるという問題が生じる。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承諾が得られた。探究活動とDXを軸とした授業改善を試みながら、スクール・ミッションの実現につなげたい。